上の写真は全員ではありませんご了承ください

平成28年1月3日(日)　梼原町成人式
成人となられた方は、男性15名　女性23名　38名です

（抜粋）

岩本委員長　:「皆さんは阪神淡路大震災が発生した年に生まれました、近代都市のもろさ、被害者同士のモラルの高さボランティア活動が注目され始めました。
梼原町では和田城の群像・維新の門建立。第1回全国棚田サミットが行われた年です。
それぞれが夢を思い、自信と希望と勇気を持って自分の道を進んでください。」

式辞

土釜議長　:「成人式を迎えた日、”自分はこれからどう生きるのか”10年後自分はどうなっていたいのか
自問自答して、そうなるために具体的な夢を描き決意をしっかり胸に刻み、
多くの人に支えられていることも忘れずに一日一日を積み重ねて志に向って進んで下さい。
ふるさと梼原に誇りと愛着を持ち、根っこは梼原にあることを忘れず、
ご両親から受け継がれたあなたの大切な命を未来に繋げて下さい。」

祝辞

矢野町長　:偉人の言葉で「夢」を考える
「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし、故に、夢なき者に成功なし。」 吉田松陰（明治維新の指導者）
「自分ではできないかも知れないという恐れに真正面から立ち向かうたびに、
あなたは強さ自信と経験を勝ち取るのです。だから、できないと思うことに挑戦してごらんなさい。」
エレノア・ルーズベルト（世界人権宣言の起草者）
「夢は見るものではなく、叶えるもの」 澤穂希（サッカー選手）

挨拶

来賓

謝辞（抜粋）

代表（坂本あかり）:「・・・・・・・・いかにお互いが今、何を考え何をすべきか、常にアンテナを張り、行動していくことが重要だと思います。これから生きていく中で、たくさんの困難や厳しい現実が待っているかもしれませんが、どんな時でも、私たちのこの繋がりは支えとなり、力へと変わるでしょう。

この日を迎えるまで、私たちを育て支えてくれた、お父さん、お母さん、家族のみんな、本当にありがとう。そして私たちをいつも温かく見守って下さった地域の皆様に心からお礼を申し上げます。

まだまだ未熟な私たちですが、皆様の期待に応えられるよう日々精進し、自覚と責任、そして感謝の気持を忘れず歩んでいきます。・・・・・・・・・・・・」

講演　『梼原町に来てしまいました』
森づくり担い手育成塾長兼商い担い手育成塾長
笹岡　高志氏

①「30歳迄に生き方（仕事）を定めよう。」
②「仕事を進めるためには仲間（伴侶含む）作り。」
③「ふるさと（高知県・梼原町）を想う心を大切に。」

語らいと軽食

二十歳のメッセージ
・海外へ行きワイン用のブドウを作りたい。
・インストラクターになりたい。
・社会人として責任と自覚を持った行動をとりたい。
・お母さんありがとう。
・若さを生かしてがんばりたい。
・将来梼原へ帰り貢献したい。
・早く結婚して両親に孫を見せたい。
・ナンバーワン芸人になります。
・勉強頑張ります。
・友達、両親に感謝しています。
・夢に向かって、思いやりのある行動をとりたいです。

電報もたくさん
いただきました。